

# 交流のひろば

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。



## まちなews のニュース



下川淵地区

### おいしさ格別 手打ちうどん

下川淵公民館で一月二十五日少年教室「手打ちうどん作り」を実施。小学生など十人が参加し、うどんの手打ちに挑戦しました。

小麦粉に水を入れてこね、丸めてねかせている間に野菜や肉などの具を準備。十分にねかせた小麦粉の玉を、めん棒で二三の厚さに延ばします。程よい厚さに切り、具と一緒に煮込んで出来上がり。

最後に参加者全員で試食です。自分で作ったうどんの味は格別で、「おいしい」「もっと食べたい」ととても好評。中には「帰ったらお母さんに作ってあげたい」と話す児童もいました。

## 「伝統工芸の灯」守りたい



ピープル

技能功労者表彰を受けた  
狩野 千代松さん(67)  
総社町桜が丘

本年度の技能功労者に選ばれて、二月五日、前橋アルサで表彰された(15 に関連記事)。「ありがたいことと思っています。この表彰はさまざまな業種が対象ですから。その中で組合の推薦を受けて表彰していた

だき、感謝でいっぱいです」

勢多郡赤城村の出身。地元の日展入選画家に師事し、日本画とこけし絵付けを学ぶ。これがこの道半世紀の出発点となった。

「絵の勉強がしたくて入門しました。その後、昭和二十八年に独立し、こけしの制作を始めただんです」

昭和三十五年、本市へ工房を移転。二年後に日本農村工芸作家協会に入会してから、徐々に商業用の大量生産から芸術性の高い一品制作の創作こけしへと作品の主流を変えていく。

「はじめのころは、いろいろと苦労しました。でも、それが

今の礎になったんですね。昭和五十四年、全日本こけしコンクールで、最高賞の内閣総理大臣賞を受賞したことが、以後の作品づくりに励みとなりました」

素材は市の木・ケヤキにこだわ。木目や木肌、色合いが一つ一つ違い、愛着があるからだ。

「今回の受賞を励みにこれからも伝統工芸の灯を絶やさぬよう、努力を続けたい」と、創作意欲を燃やしている。

訂正 前号で紹介した田中末沙さんは田島末沙さんの誤りでした。また、文中「リレー」のメンバーとして全国優勝を「全国出場」に訂正し、お詫びします。

## まえばしの今と昔

### 防火地域に 指定される

八展通り



昭和三十年代の八展通りです(写真上、写真下は現在)。昭和二年に八間道路に沿って形成されたのが八展通り商店街。同二十四年に街路灯が設置され、木製柱から鉄柱に。同三十五年には都市計画の防火地域に指定され、三階建ての建物が造られました。